

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第113号 ■

10月6日(木)～8日(土) 高知市で開催された第45回中央社会保障学校(以下、「社保学校」)に参加しました。今年のテーマは「全階層・全世代に広がる貧困」であり、社保学校が貧困をメインに取り上げるのは初めてのことでと説明がありました。

1日目は神戸大学の二宮厚美名誉教授や大阪の人権裁判を取り扱う小久保哲郎弁護士の講演会が開催されました。2

中央社会保障学校 in 高知

本部 事務長 舘田 総子



集会に参加したファルマの皆さん

日目はフィールドワークがあり、高知市内の「自由民権運動の歴史」を学ぶバスツアーに参加しました。皆さんご存知の坂本龍馬が姉の乙女に送った手紙の一部「日本を今一度洗濯いたしし候」の書簡を見学しました。3日目はパネルディスカッション。年金受給者・障がい・保育・生活困窮立場として、代表の方々から貧困に対する発言がありました。

3日間にわたり様々な立場の方の発言を聴き、生存権・幸福追求権を大きく主張すべきではないかと感じました。また、お金がなければ生きられないという、汚れた日本になってしまった気がしました。これから安倍政権によって進められようとしている社会保障の解体を絶対やめさせなければなりません。民医連の仲間たちや多くの共同組織の方々、地域の皆さんとともに学習し、今の日本を洗濯するように政治を変えたい思いでいっぱいになりました。来年の社保学校は青森県で開催されます。

自衛隊を南スーダンに送るな！ いのち守れ！ 青森集会

本部 樋口 友里

10月30日(日)、青森駅前公園で「自衛隊を南スーダンに送るな！いのち守れ！青森集会」が開催され、全国各地から約1,250名、ファルマからも総勢20名の職員とその家族が参加

しました。公園の特設ステージでの集会では、青森県9条の会共同代表の神田健策氏から主催者挨拶があり、総がかり行動実行委員会代表の高田健氏による南スーダンの情勢報告、各界からのスピーチが行われました。政党を代表して、民進党の升田世喜男衆議院議員、日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員、社民党の三上武志青森県連代表がスピーチされました。この集会で特に印象に残ったのは、自衛隊員家族の平和子さんのスピーチでした。家族のためにも取り組んでいた平和活動を続けるために、自衛隊員の息子さんと辛い過去をお話してくださいました。



青森市内をパレードしている様子

最後に、ねぶたの囃子に合わせて「自衛隊を戦地に送るな！」「戦争法は廃止！」「ねぶたコール」をし、ファルマは職員で作成した大きな「戦場の若者を送らない」のメッセージを持って公園からアスパム前までパレードを行いました。南スーダンの派兵を許すことは、戦後70年間守ってきた平和を壊す第一歩となってしまう。それを決して許してはならないと改めて感じた集会でした。

第1回日本HPHカンファレンス

in 東京参加報告

取締役総務部長 崎野 修

10月8日(土)に「第1回日本HPHカンファレンス」に参加しました。記念すべき第1回目となる今回は「超高齢化社会と健康格差社会」の中のヘルスプロモーション活動をテーマに講演とポスターセッションがあり、諸外国も含めて317名もの参加がありました。

簡単にまとめると「地域包括ケアに向けて医療や介護を取り巻く環境が大きく変わる中で自分たちの健康を自分たちでどう守っていくか、健康格差をどう克服するか」という内容で語られ、まさにタイムリーで時期を得た素晴らしい内容で勉強になりました。

日本薬剤師会学術大会 in 名古屋

弘前調剤センター 薬剤師 盛 友莉恵

10月9日(日)～10日(月)に名古屋で行われた第49回日本薬剤師会学術大会に参加しました。

1日目はランチョンセミナー「女性のゆらぎと大豆スーパーイソフラボン『エクオール』の可能性」口頭発表(セルフメディケーション)に参加しました。薬局の小さな努力が、患者様のリビートや健康相談の窓口としての機能を果たしていくという発表に大変刺激を受けました。よりよい薬局作りのため、薬局を利用してくれる患者様のために、今後健康サポート薬局として機能できるように努力したいと感じました。

2日目はポスター発表を行いました。残薬調整事後報告によって削減した医薬品の金額・件数に関して調査し、どれだけ残薬調整ができたか金額ベースで報告しました。ポスター発表



参加者の方々と舘田事務長(左)



大会に参加した弘前調剤センター 高橋主任(左)と盛薬剤師



行く先々で質問する崎野部長

のかを見つめ直す機会になり、今後の薬局ありかたについて多くのヒントを得ることができた大変有意義なカンファレンスとなりました。

わたしのお気に入り

弘前調剤センター 薬剤師 木村 太郎

私の最近のお気に入り「家庭菜園」です。みなさんは弘前調剤センターの桜の木の下に野菜が育っていたのをご存知でしょうか？ 何を隠そうあれを育てていたのは私です。

小さいころから植物が好きで道端の綺麗な苔を拾っては自宅で育て、庭に移植するということをしていた私も社会人になり、次第に植物に触れる機会が減ってしまいました。そんな時会社の一角によさそうな土地があることに気づきました。日当たり良好、土もいい感じ、さらに水道も近くにある、ファルマ菜園の誕生です。

今年は獅子唐・きゅうり・ハーブ・さつまいもに挑戦し、初心者にははまずまず上手にできたのではと思います。特にハーブは育てて面白いと思いました。料理に使うと香りが出ですごくおいしく本格的になりますし、ヨーロッパでは古くから薬として扱われるほど体にいいのです。食べて健康になる、とてもいい言葉だと思いませんか。医薬品だけではなく食べ物からみなさんの健康をサポートできればいいなと思い、これを機にハーブについて学んでみようかと考えています。夏の暑い日差しに負けず日々育っていく野菜の姿から元気をもらいました。来年は何を育てようかなと今から調べています、おすすめの野菜・ハーブがあれば教えてください。



鈴なりの獅子唐を手に笑顔の木村薬剤師



ピンクレンジャーと一緒に三沢市内をパレードしました

日本平和大会 in 三沢

ファルマ浪岡薬局 薬剤師 村上 昌

10月22(土)〜23日(日)に行われた日本平和大会 in 三沢に参加しました。

1日目は三沢基地視察学習を行った後、平和大会開会集会、青年集会・夕食交流集会に参加しました。2日目には「子どもた

ち、青年に迫る戦争」をテーマにした分科会に参加し、大会の最後にはピースパレードにて三沢市民の方々に自分たちの平和への思いを主張して来しました。分科会での講演では高校生への自衛隊による勧誘や就職率の中学校の自衛隊への職場体験の内容などに加え、戦争を経験した人の家族環境などについて事細かく講演して頂きました。中学生の職場体験では生徒に格闘技を実演させるばかりか訓練用とはいえゴム製のナイフを持たせ、戦闘の訓練をさせていたなどのお話もありました。このよ

うに国は戦争の準備を若い世代に向けて行おうとしています。子どもたちに自衛隊とは国を守るために他国と戦う部隊なのだという思想を浸透させようとしているように感じます。

この2日間を通して、未来の子どもたちに戦争をさせないために、このままでは自分の子どもがどうなるのか、どのように社会が変わってしまうのかをより一層国民に訴えかけていかなければならないと思いました。

健生病院

弘前市との生活保護に関する懇談

代表取締役 石川 隆之



懇談会の様子

10月21日(金)に弘前市との懇談に出席しました。内容としては生活保護受給者で一人暮らしの方が亡くなり、しかも身内

の方に連絡が取れない場合は時間外も含め、市として速やかに対応していただきたいことや、止むを得ず本人が窓口に出向けない時は家族による代理申請を認めてほしい等でした。市としても誠実な対応を心掛けていますが、この件に関しては健生病院とも協力して対応していきたいとの回答でした。一方、市からは来年度以降生活保護受給者が多いこの地域から病院が移転してしまうことを不安視する意見が出されていました。

在宅推進委員会主催「在宅医療出張報告・学習会」に参加して

弘前調剤センター 薬剤師 小山内 佳乃

10月19日(水)にファルマ大会議室で行われた「在宅医療出張報告・学習会」に参加しました。

今回の研修会は相馬薬局長、木村太郎薬剤師の発表を聴き、最後にグループワークを行いました。発表の内容を参考にグループワークを行い、短い時間でしたが、対応する医療機関による往診の処方せんが今後も確

実にファルマで受けることは限らない、減少傾向にある処方せん枚数を増やすにはどうするかという問題点や対策案としてテーマソング・CMを作る、各施設や患者様、ご家族への営業活動、在宅にやりがいを見つけるなどたくさん意見が挙げられました。

今回の研修会で、患者様に薬局を利用してもらうために薬局側からのアピールが必要であること、提供できるサービスの幅を広げるためにも幅広い知識、技術が必要だと感じました。患者様のニーズを感じ取り、より良いサービスを提供できるように今後も学習していきたいと思っています。

憲法・いのち・社会保障もる 10・20国民集会 in 東京

黒石薬局 津川 なつみ

10月20日(木)東京日比谷野外音楽堂で国民集会が開催されました。2014年の参加に続き2度目でしたが、寒さの増す青森とは異なり、東京はとても暖かく集会日和でした。

会場で国会議員や著名人の方々の挨拶、そしてリレート

クやシブプレヒコールの練習をしてから銀座をパレードしたのですが、3,300名以上の参加者が一体となり、とても熱気のあるパレードとなりました。

医療に携わっている人ばかりでなく全ての人が、無関心でも無関係ではられないことを再



パレードに参加する津川さん(前列右から3人目)



グループワークで話し合われた内容を発表する様子

写真紹介

津軽保健三大支部へ出張出前講座

10月30日(日)津軽保健三大支部へ出張出前講座を行いました。「薬の正しい知識」のテーマで、弘前調剤センターの阿保香織主任が講師を務めました。



講義する阿保主任(中央)

五所川原市 認知症フォーラム

10月29日(土)五所川原市オルテンシアで開催された「五所川原市認知症フォーラム」に、ファルマーツ谷薬局の津川俊彦薬局長と須藤江利加さんが参加しました。認知症をテーマにした寸劇を披露しました。



参加した津川薬局長(右)と須藤さん

核燃・だまっちゃおられん 津軽の会金曜日行動

10月27日(木)りんご広場で開催された「核燃・だまっちゃおられん津軽の会金曜日行動」に参加しました。弘前調剤センター薬事課の佐々木良太さんと、本部の樋口友里さんが原発再稼働反対のアピール文を読みみました。



夕方帰宅途中の方々にアピールしました

電話応対コンクール 青森県大会

10月14日(金)アピオあおもりで開催された、電話ユーザ協会主催「電話応対コンクール青森県大会」に弘前調剤センター薬事課の佐々木良太さんが出場し、連日遅くまで練習した成果を発揮してきました。



ステージで電話応対を披露する佐々木さん

健生クリニック大会へ 接遇セミナー

10月15日(土)に開催された「健生クリニック大会」で、本部の阿部千佳子主任が接遇学習会で「患者様へ寄り添う接遇を目指して」をテーマに講師を務めました。



参加者の方々からたくさんご質問いただきました